



薄型荷重計、リフトオフ試験の迅速化と測定値の安定化

○ 山岳トンネル／地下構造	○ シールドトンネル	○ 地盤／山留め	○ 基礎／ケーソン
○ 近接施工	○ 斜面防災	○ コンクリート構造	○ ダム・メンテナンス
○ 鉄道関連	○ 道路関連	○ 橋梁関連	○ エネルギー関連

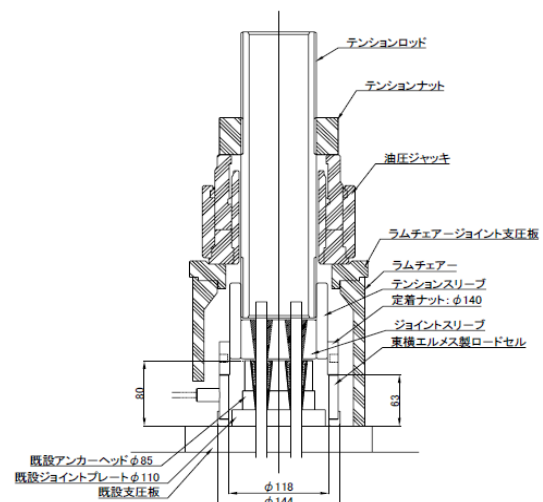
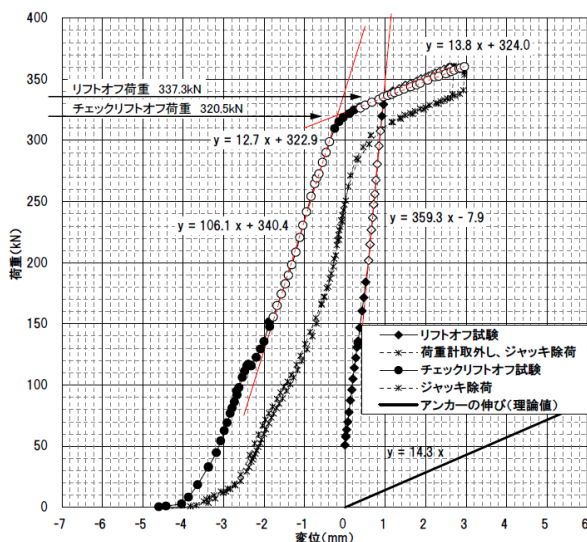
◆ 概要

地すべり対策や斜面の安定化に設置したグラウンドアンカーに荷重計が取り付けられていない場合、アンカーの現在の残存引張り力はリフトオフ試験により求めます。しかし、リフトオフ試験は仮設の作業足場で、大きな専用の油圧ジャッキを設置して行う載荷試験です。足場の悪さ以外に荷重計の大きさ(重さ)も偏心荷重の一つです。弊社製薄型荷重計は、[※1] (独)土木研究所の「アンカーへの取り付け・交換が容易な新型アンカー荷重計の開発」の共同研究(略称:Aki-Mos研究会)に参加し、その成果として完成した製品です。



◆ 特徴

- 軽量・薄型(質量: 当社比で1/2～1/3に軽減)
- 独自の荷重伝達機構の採用により、偏心荷重や繰り返し荷重に対しても安定です。
- 容量300kN～2MNまで製作いたします。
- アンカーの方式 (くさび定着式、ナット式)に応じて製作いたします。
- 従ってリフトオフ試験が迅速に、かつ測定バラつきも少なく安定したデータを提供します。



[※1]共同研究報告書第407号「アンカーへの取り付け・交換が容易な新型アンカー荷重計の開発」より転載(土木研究所発行)

お問い合わせ



ISO9001

東横エルメス

製造部

TEL (046)233-7715(代)

